

広木駅「鉄道人身事故」に対して！

10月27日鹿児島本線広木駅において鉄道人身事故が発生しました。JR九州として平成7年「築城駅」以来となります。

本部は、2022年「秋のダイヤ改正」で以下の問題を指摘してきました。

- 都市間輸送の見直し(現在の減便・減車問題)
- 車掌業務の職場解消(長崎・熊本・鹿児島)
- ワンマン運転両数の見直し(3・4・6両拡大)

減便、減車問題は、この間のお客さまからのクレームや自治体からの要請に現れています。

停目の統一や、車掌乗務で収入確保と鉄道人身事故防止を訴えてきました。

会社回答として

- ◎ 「車側カメラ」「知らせる君の活用」「反復喚呼」で対応出来るようになりました。

今回の事故に対して会社は、呼び込み指導、現車訓練、反復喚呼指導を行っていますが、ワンマン運転線区において停目の統一が第一優先ではないでしょうか！

運転士・人間はミスがあります。デバイス(知らせる君)は誤動作が発生します。

同種事故対策は「停止位置目標の統一です」！

本部は「経営協議会」「申入れ」等で要求していきます！